

市民とともに考え、市民とともに守り育てる震災復興祈念公園

【意見交換の趣旨】

現在、高田松原地区震災復興祈念公園を国営公園として整備することを国に要望しています。今次震災の追悼と鎮魂、記録と教訓を伝承していくためには、350年の歴史をもつ高田松原が地元の方々の手によってつくり、守られてきたように、この公園においても、市民の皆さんの参加と協力の下に守り育て、市民の皆さんの思いが活かされることが必要不可欠であると考えます。

今回は、市民の皆さんの目線で、新しい公園に望む姿や、公園を守り育てていくための市民の関わり方について、自由に幅広い意見交換を行っていただき、新しい公園の姿だけでなく、出来上がった公園を未来に引き継いでいく方法も含めた、新しい公園像について考えたいと思います。

【意見交換の主なテーマ】

① どのような公園にしたいか？

- 例) どのような場所（空間）があると良いか？
- どのような施設があると良いか？
- どのようなものは遺すべきか、また再生すべきか？

※参考として、公園予定地にあったものや被災後に遺されたもの、さらには、各地につくられてきた「祈念（メモリアル）公園」や「国営公園」にある場所（空間）や施設の事例を資料としてお配りしています（参考資料1）

② ①の場所や施設などにおいて、市民の皆さんがどのように関わっていくことが出来るか？ あるいは、関わる必要があると考えるか？

- 例) 公園をつくる際の市民の関わり方は？
- 公園を守り育てていく際の市民の関わり方は？
- 公園を活用する場合の市民の関わり方は？

※参考として、公園に関わらずさまざまな場所（空間）や施設などにおける市民参加の取り組み事例を資料としてお配りしています（参考資料2）